



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'00 8月号

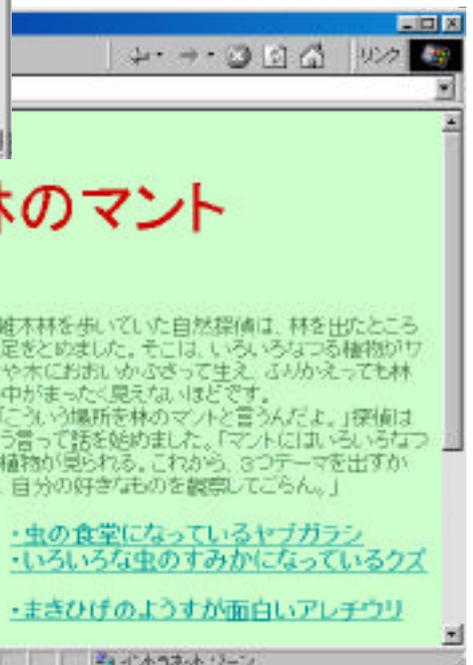
<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum>

ホームページを開きました



トップページ
 メニューは8月1日現在、
 利用案内
 交通案内
 展示室
 イベント案内
 プラネタリウム
 おたのしみページ

のほか、トピックスとして「村井弦斎」「セミのぬげがら」「皆既月食の画像」など。



おたのしみページ
 「おたのしみページ」の内容は
 こども向けの自然観察ガイド
 で、今月また新たに「自然探偵
 と林のマント」が加わりました。

もうごらんになりましたか？

平塚市博物館のホームページが、上記URLにて7月より公開されています。

かねてより平塚市役所のページ「ひらつか図鑑」に原稿提供してきましたが、こちらは展示や行事のご案内など館の活動紹介と、情報提供をするオリジナルページです。また、「おたのしみページ」では、こども向けの自然観察案内を行っています。月1回定期更新の予定ですので、「あなたと博物館」ともどもご利用ください。

「食道楽」を体験！ 弦斎料理の教室

今年度の夏期特別展「時代の先駆者 よみがえる村井弦斎 - 明治の実用小説家 - 」ではさまざまな関連行事が計画されています。その中の一つ、7地区公民館（大原、崇善、岡崎、金田、旭北、花水、なでしこの各公民館）では、「弦斎料理の教室」をテーマに、食道楽の中で紹介されるレシピの料理法と試食会が実施されます。

そのトップをきって大原公民館では、7月13日、公民館調理室で「弦斎料理の教室」が家庭教育学級の中の一環として、市内虹ヶ浜で「善」を経営する今須崇幸さんの指導により実施されました。

当日、教室に集まった方は25名です。この25名が4班に分かれ、それぞれが「鯛のスープ」、「南瓜の葛掛け」、「蕨の白和え」の調理に挑みました。

ところで、「弦斎料理の教室」と名付け開催される料理教室ですが、弦斎は、「食道楽」の中で彼自身が独自に考案した料理を紹介している訳ではありません。したがって、厳密に言えば、弦斎料理というものはないといえます。しかし、彼は、その「食道楽」の中で当時の日本人が食べたことのない食材、例えば、アスパラ、トマト、パセリ、レタスなどを使った料理のレシ



大原公民館で行われた料理教室
(写真提供：佐野公宣氏)

ピを紹介し、その数は、およそ600種に及びます。

今回、大原公民館で行われた料理教室では、600種のレシピの中の和風料理から、前記のレシピを選び、今須さん流の弦斎料理を再現するというものでした。

今須さんは、各調理テーブルを回りながら親切な指導を行っていました。2時間後、出来上がった料理を受講生の皆さんで試食し、そのおいしさが好評でした。また、当日は湘南ケーブルテレビの取材もあり、たいへん盛り上がった料理教室になっていました。これから順次、先の公民館でその募集も含め開催が予定されています。是非、「弦斎料理」を皆さんでお楽しみ頂けたらと思います。

「弦斎料理の教室」これからの予定...8月21日岡崎公民館(0463-58-1286) / 8月21日金田公民館(0463-31-2136) / 8月24日旭北公民館(0463-32-2221) / 8月28日花水公民館(0463-31-3824) / 8月31日なでしこ公民館(0463-35-1254)

夏期特別展

時代の先駆者 よみがえる村井弦斎 - 明治の実用小説家 -

平塚に居住し、明治から大正期に活躍した小説家村井弦斎の草稿原稿、刊行本、遺品等を展示しています。

会期：7月7日（金）～8月31日（木）

場所：博物館特別展示室 入場無料



図録（解説書）

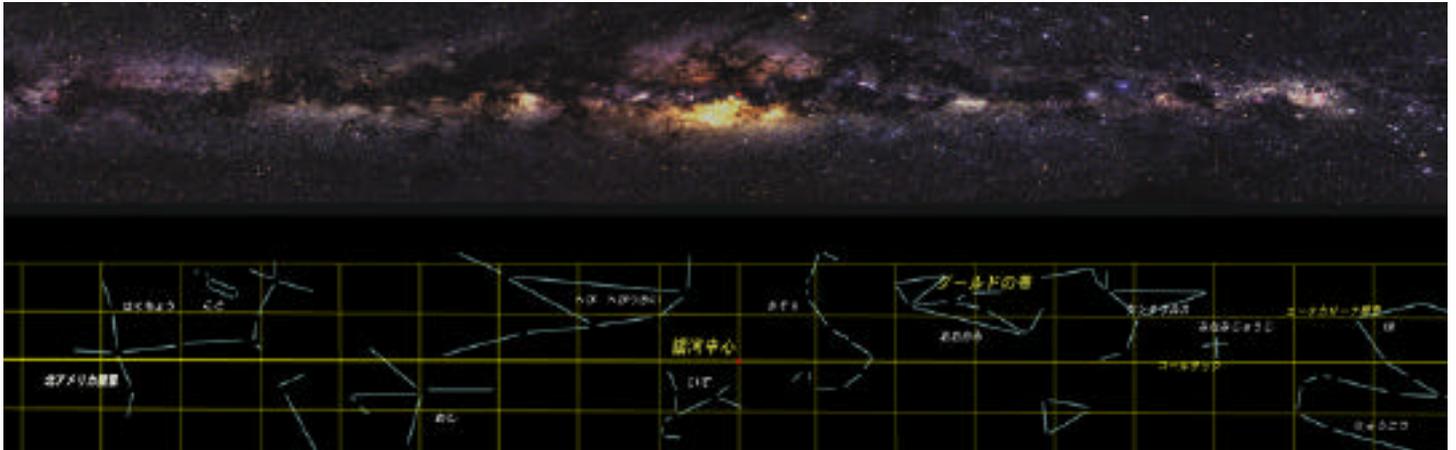
A4判76頁

頒価700円

郵送には別に送料
310円が必要です。



ギャラクシークルーズ



ギャラクシーとは、銀河のことです。私たちが属する銀河系は渦巻き銀河です。私たちはその中のどこにいます。銀河のなかにはどんな星や天体が見られるのでしょうか。そして、銀河系の未来は……。なつかしい銀河の歌にのせて銀河の流れをたどっていきます。セリフから番組の一部を紹介しましょう。

銀河の中心

ほら、このあたりが銀河系の中心だな。このボケたような、黄色い模様の中に、黒く入りくんだところが見えるだろう、星間物質なんていう、ま、すすがたまったようなところだ。すす？宇宙にすすがたまっているんですか？そう。ちりだから、星間塵と言ったりもする。水やメタンも、アルコールだつてみつまっている。みんな星のくずみたいなもんだ。中心はこの写真で見えている星よりずっと奥に隠れている。おれたちから3万光年もはなれている。その間にある星や星間塵で光が散乱されたり吸収されたりしている。

天の川をたどろう

よし、さっきの星図で見た天の川の流れをみなみにた



どろう。

頭の中で、思い出して、いて座から下ると、見えてきた、あこがれの、みなみじゅうじ、暗黒星雲の暗い穴、コールサック。

エータカリーナ

そこには150年位前に、1等星が見えていた。今は、見えない。そこは、巨人の星があった。太陽の100倍。でっかければいいってもんじゃない。でかすぎてまわりが吹き飛ばしちゃった星、それがエータカリーナだ。

マゼラン星雲・銀河系の運命

銀河系の近くにある二つの小さな銀河。どちらも16万光年離れている。そして、少しずつ近づいてきている。

数十億年後、この二つのちいさな銀河たちは銀河系に衝突する。そのあと、アンドロメダ銀河も衝突し、銀河系と合体した楕円銀河となるんだ。

これが数十億年後の銀河系の将来の姿だ。

もう、その時にはこんな美しい天の川を見ることはない。もしかしたら太陽はとんでもない宇宙の闇の中に放り出されてしまうかもしれない。

どうした、うーんとさきの話だよ。

そんな未来が銀河に、太陽に、待ち受けているとは。

(9月3日まで投影)

投影日 毎週土・日曜日(8月30日までは水木曜日も投影)

開始時刻 11時 14時(途中入場できません)

定員 86名

団体予約 水・木曜日11時の回は団体予約(20名より)

を受け付けています。観覧料は3割引になります。

子供会の行事などにご利用下さい。

博物館カレンダー

2000年8月

1	火	○ 体験学習「地形模型を作ろう」	科学室
		☆ 特別展「村井弦斎展」 (～8月31日)	特展室
3	木	展示解説ボランティアの会	特研室
		○ 自然観察セミナー「セミの観察」	科学室
4	金	○ 体験学習「地形模型を作ろう」	科学室
		古文書講読会	講堂
		◎ 星を見る会「夏の星空」	屋上
5	土	地質調査会	野外
		天体観察会「スターウォッチング調査」	屋上
		○ 特別展記念シンポジウム「弦斎-WHO-」	中央公民館
9	水	○ 体験学習「縄文土器を作ろう」	科学室
		地質調査会	特研室
10	木	○ 体験学習「縄文土器を作ろう」	科学室
		石仏を調べる会	特研室
		○ 自然観察セミナー「セミの観察」	高麗山
11	金	○ 体験学習「縄文土器を作ろう」	科学室
		古文書講読会	講堂
		○ 自然観察セミナー「セミの観察」	高麗山
		◎ 星を見る会「夏の星空」	屋上
12	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
		天体観察会「スターウォッチング調査まとめ」	科学室
13	日	民俗探訪会「盆の砂盛」	金目
		地質調査会	科学室
15	火	戦跡見学会	市内
17	木	展示解説ボランティアの会	特研室
18	金	古文書講読会	講堂
		◎ 星を見る会「夏の星空」	屋上
19	土	空襲と戦災を記録する会	特研室
20	日	◎ ろばたばなしの会	展示室
23	水	○ 体験学習「縄文土器を作ろう」	野外
		◎ 自由研究相談会	科学室
24	木	石仏を調べる会	特研室
25	金	古文書講読会	講堂
		◎ 星を見る会「夏の星空を見よう」	屋上
26	土	民俗探訪会「御獄神社の獅子舞」	相模原
		○ こども観察会「コウモリと鳴く虫」	相模川
27	日	古代遺跡を探す会	野外

☆寄贈品コーナー「平塚大空襲」

1945年7月、平塚はアメリカ軍の大規模な空襲を受けました。その実態を物語る資料を展示します。「あなたと博物館」6月号でご紹介した平野哲男氏の絵画「平塚大空襲—学徒動員・15歳の死と生—」も公開しています。(9月9日まで)

2000年9月

1	金	古文書講読会	講堂
6	水	博物館実習(学芸員志望大学生) (～9月13日)	博物館
7	木	展示解説ボランティアの会	特研室
8	金	古文書講読会	講堂
9	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
		天体観察会「太陽・天球儀」	科学室
		☆ プラネタリウム「フットワークプラム」 (～10月1日)	プラネ室
13	水	☆ プラネタリウム「学校投影」 (～3月)	プラネ室
14	木	石仏を調べる会	特研室
		☆ 寄贈品コーナー「実習生展示」 (～10月29日)	展示室
17	日	◎ ろばたばなしの会	展示室
20	水	裏打ちの会	科学室
21	木	展示解説ボランティアの会	特研室
22	金	古文書講読会	講堂
24	日	古代遺跡を探す会	野外
28	木	石仏を調べる会	特研室
29	金	古文書講読会	講堂

▲9月30日は月末休館日です▲

○こども観察会「コウモリと鳴く虫」

相模川の川原でコウモリの飛ぶ姿を見たり鳴く虫の声を聞いたりします。

●8月26日(土) 17時～19時30分 ●相模川(馬入付近)
●8月10日までに往復はがきでお申込下さい。小中学生および保護者に限る。多数の場合は抽選で30名まで。

◎漂着物を拾う会

浜に打ち上げられた漂着物を拾い観察します。

●8月12日(土) 9時30分～11時 ●虹ヶ浜海岸 ●自由参加ですが、初めて参加する方は往復はがきでお申込下さい。集合場所等案内をお送りします。

◎自由研究相談会

夏休みを利用した自由研究の進め方や、集めた資料について、学芸員が相談に応じます。

●8月23日(水) 9時～12時 ●博物館科学教室 ●参加自由

◎ろばたばなし

展示室民家で相模地方の伝説と昔話を聞きますか?

●8月20日(日) 13時30分、15時 ●展示室民家 ●参加自由

◎星を見る会「夏の星空を観察しよう」

望遠鏡で月や星を観察します。

●8月中毎週金曜日 19時～20時30分 ●博物館屋上 ●参加自由 ●くもりや雨の場合は中止

☆: 展示(無料) ・プラネタリウム(観覧料)、○: 申込制 ◎: 自由参加 無印: 年間会員制

あなたと博物館 25巻 5号 通巻283号 発行 平塚市博物館 2800

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 TEL:0463-33-5111 FAX:0463-31-3949